吉岡町議会広報誌

# あなたのギカイだより

No.148

2025.7.18

CONTENTS　５月臨時会　６月定例会


Ｐ２… 特集　ひと☆人　吉岡町の農業をもっと元気に
Ｐ３… 皆さんに聴きました
Ｐ４… 新たな議会運営が始まりました
Ｐ８… 議員の知見と活動の集約

肥料開発関係者
平形　和志 さん

有機農法に挑戦されている生産者
森田　利夫 さん

特集　ひと☆人

# 吉岡町の農業をもっと元気に

有機農法に挑戦されている生産者　森田（もりた）　利夫（としお）　さん

肥料開発関係者　平形（ひらかた）　和志（かずし）　さん

インタビュアーの山﨑議員・秋山議員と

**Q農業を始めてどれくらいになりますか。**

**A森田さん**　45年くらいになります。５年前くらいから有機農法を始めました。

**Q有機農法を始めるきっかけがあったのですか。**

**A森田さん**　減農薬に興味があって、実際にやっている人の話を聞いたりして、有機肥料を自分で作ることから始めました。例えば魚粉や菜種、米の粉などを混ぜて発酵させて肥料を作りました。今は米ぬか・おから・廃菌床（はいきんしょう）を発酵させて作られる土壌改良剤も併用しています。この土壌改良剤は町外で使われていたのを知って、偶然にも土壌改良剤の研究に携わっていた平形さんが吉岡町出身の人だったので、いろいろ聞いて取り入れてみました。

この機械を使って、町内で肥料（土壌改良剤）を作っています

**Q有機農法を取り入れる前と後では収穫など、どのような違いが出ましたか。**

**A森田さん**　以前は動物が来ませんでしたが、先日もカモが田んぼに来ていました。栄養がある田んぼには鳥などの動物が来ます。また令和６年は食味テストに出してみたところ、高評価をいただけたので、以前よりお米の味も良くなったことが客観的に分かったと思います。

**Q素晴らしいですね。今、気候変動などで大変だと思いますが、苦労されていることなどありますか。**

**A森田さん**　やはり気温上昇でお米の実の数が減ってしまっています。自然相手のことなので、こちらも試行錯誤の連続です。

**Q今後の目標などあれば教えてください。**

**A森田さん**　千葉県や茨城県では、地元のお米を子どもたちの学校給食に活用している事例もあります。町内の学校だと、６～７トンのお米が作れれば１学校分のお米を提供できますので、味も良くして子どもたちへおいしいご飯を提供できるように頑張りたいと思っています。

**A平形さん**　森田さんの協力で、おいしいお米が作れる結果が分かったので、土壌改良剤が活用されてブランド米ができるといいなと思っています。またお米だけでなく、他の野菜などにも転用できないか研究中です。この農法が広がって吉岡町の農業がもっと元気になるよう、お役に立てればと思っています。

無農薬でブランド米を目指す森田さん

# 皆さんに聴きました

私たちが聴きました

秋山（あきやま） 光浩（みつひろ） 議員　山崎（やまざき） 守人（もりひと） 議員

**議会広報常任委員が、町の課題について、関係する住民の皆さんにインタビューして、意見や思いを聴きます。今回は「農業の現状と将来」をテーマに、町で農業に携わっている皆さんにお聴きしました。**

吉岡町の農業従事者の平均年齢は 73 歳で、高齢化が進み後継者もいません。また、農機や肥料など値上がりにより、利益が上がりません。このままでは衰退していくだけです。もっと農業政策に力を入れてほしいです。

後継者がおらず、高齢化が進み労働力不足の慢性もあり、収益が上がらないのが現状です。農業で生計が成り立つ助成や施策をお願いしたいです。特に若者が仕事に農業を選択するような政策をお願いします。

年齢が高くなり、農作業が短時間しかできません。体力的に難しくなってきました。子どもたちも今の仕事を辞めて農業をやるほど魅力がないと言っています。縮小の一途です。安定収入の魅力ある農業になってほしいです。

町や農協が主導し、家庭菜園レベルから自給自足を体験し、兼業農家に挑戦する若手を増やしたいです。

特産品・名産品を確立させることが課題。ふるさと納税返礼品にも、もっと積極的に挑戦すべきだと思います。

後継者不足と設備投資に難があることは明らかです。農機具の共同所有や、共同営農を考える必要を感じています。

人口は増えましたが、農業への関心は薄いままと感じています。営農に関心ある人は一定数いるはずなので、気軽に問い合わせできたり、体験できたりする環境整備が不可欠だと思います。

ブランド作物の確立や契約栽培などで農家の収入が安定するよう指導機関の必要性を感じます。

毎年後継者がいないなどで町内の農地が休耕地や宅地へ変わってしまっています。一方で若い人でも就農したい人や、今関わっている農業の合間で作付けをしたい人もいます。
ぜひ町には後継者不足で悩む人と、新たに農業を始めたい人との橋渡しをしてほしいと思いますし、そのような仕組みがあればいいと思います。

他県では、山間部にも関わらず地元でとれたお米や野菜を活用し、加工して販売し大成功している事例もあります。
町も町内生産者に声がけをするなどして、新たな特産品を作り出す、販売する場所を開発してほしいと思います。大変なのは分かりますが、アイディア次第で大きなビジネスになると思っています。

令和７年第２回臨時会

# 新たな議会運営が始まりました

令和７年第２回臨時会が令和７年５月１日に開会されました。最初に、議長・副議長の選挙が行われ、議長に富岡大志議員、副議長に冨岡栄一議員が選出されました。その後、富岡議長から各常任委員会委員と議会運営委員会委員が選任され、各委員会の互選により、各委員会の委員長･副委員長が決まりました。

## 議長・副議長が決まりました

富岡大志議員が議長に、冨岡栄一議員が副議長に就任しました。

議長は議会を代表する地位にあり、議場の秩序の保持・議事の整理・議会の事務をつかさどります。

副議長は議長を補佐し、議長が不在（病気など）で欠けたときに議長の代わりに執務を行います。

議長
富岡　大志

副議長
冨岡　栄一

## 議会運営委員会

小林　静弥　飯塚　憲治　藤多ゆかり
〇飯島　衛　◎廣嶋　隆　小池　春雄

会期・議事日程など議会運営および議長の諮問に関する事項などを審査します。

## 総務産業常任委員会

小林　静弥　坂田　一広　廣嶋　隆　大井　俊一
〇秋山　光浩　◎飯塚　憲治　小池　春雄

町政一般・企画・庶務・産業・経済・土木・上下水道・他の委員会に属さない事項に関する事務の調査および議案・請願・陳情などを審査します。

## 文教厚生常任委員会

春山　和久　冨岡　栄一　山﨑　守人
〇宮内　正晴　◎藤多ゆかり　飯島　衛

教育・保健衛生・社会福祉に関する事務の調査および議案・請願・陳情などを審査します。

## 議会広報常任委員会

藤多ゆかり　秋山　光浩　大井　俊一　春山　和久
〇山﨑　守人　◎小林　静弥　宮内　正晴

議会の審議内容や議会活動を住民に知らせる広報誌の作成および議会中継に関する調査研究を行います。

〔◎…委員長　〇…副委員長〕

## 予算決算常任委員会

◎小池　春雄（こいけ　はるお）

○春山　和久（はるやま　かずひさ）

一般会計・特別会計・企業会計の予算・決算に関する事務の調査および議案などを審査します。委員は議長を除く13人です。

## 渋川広域組合議会

渋川広域市町村圏振興整備組合議会議員の選挙が行われ、廣嶋隆議員が当選しました。また、議長の改選により、富岡大志議員が選任されました。

富岡　大志（とみおか　たいし）
（令和7年5月1日就任）

廣嶋　隆（ひろしま　たかし）
（令和7年5月1日就任）

小池　春雄（こいけ　はるお）
（令和5年5月9日就任）

# ここが知りたい ギカイのイロイロ

### 定例会と臨時会

定例会は、定期的に招集される議会のことで、吉岡町議会では、3・6・9・12月の年4回と条例で定めています。

臨時会は、定例会以外で必要があるとき、特定の事件を審議するために招集される議会です。

### 委員会は審議ではなく審査

審議とは、本会議で議案などの説明・質疑・討論・表決を行う一連のことです。

審査とは、委員会で付議事件の質疑・討論をし、委員会としての結論を出す一連のことです。

### 委員会の任期は2年

常任委員会委員の任期は、委員会条例により2年と決まっています。

特別委員会委員の任期は、委員会に付議された事件の審査・調査が終了するまでの期間です。

### 常任委員会と特別委員会の違いは

常任委員会は、委員会の所管する事務の調査や議案・請願などの審査を行います。

特別委員会は、特定の事件を審査するために設置される臨時的な委員会です。

### 渋川広域組合とは

ごみ・し尿・消防・火葬場などの事務を共同処理するため、吉岡町・渋川市・榛東村で組織された一部事務組合です。

### 一般会計・特別会計・企業会計とは

一般会計とは、教育・福祉や道路・公園整備など、町の基礎的な行政サービスを行う会計です。

特別会計とは、介護保険事業など、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区分して経理する会計です。

企業会計とは、水道事業など、経営情報を的確に把握するため、発生主義の複式簿記に基づく予算決算制度を採用した会計です。

**第2回臨時会　賛否一覧**

## 令和７年第２回定例会

# 公社の経営状況報告がありました

**令和７年第２回定例会で吉岡町振興公社の経営状況報告が行われました。吉岡町振興公社とは町が１００％出資している公社で、道の駅よしおか温泉・リバートピア吉岡・緑地運動公園・※1物産館かざぐるまについて、町より※2指定管理を受けています。**

令和６年度（第 23 期）は、経営改革と温泉入館料の改定、道の駅イベント開催により、売上高２億 3505 万円を達成し、前期比で大幅な増収となりました。しかし、人件費や一般管理費の増加により、営業利益はマイナスでしたが、経常利益は 154 万円を計上しました。温泉施設の有料入館者数も増加しました。一方、緑地運動公園の利用者数は天候不順で減少しました。令和７年度（第 24 期）は、施設の魅力向上、健康増進利用の促進、物産館の商品充実、レストラン改革、道の駅 15 周年記念イベントに注力します。これにより、経常利益 347 万円、当期純利益 330 万円を目指し、さらなる経営改善を図る計画です。

**Q 新たに振興公社運営となった物産館かざぐるまの現状と課題は。特に、生産者開拓や品揃えの状況、そして周辺競合施設との比較は。**

A 物産館かざぐるまは振興公社の核施設として、競争力強化を目指す。現在、新規農家や町外生産者への働きかけを進めて、品揃えの強化、売場面積の拡大も検討中。さしせまった課題は棚の欠品解消で、現場と連携し、時間帯別や商品別の欠品状況を詳細に調査し改善を図る。

品揃えや売り場面積の改善を（物産館かざぐるま）

**Q 緑地運動公園、特にパークゴルフとグラウンドゴルフの利用者数が大幅に減少している原因を、どのように捉えているか。また、それに対する今後の対策は。**

A 利用者減少の主な原因は、利用者の高齢化、大会数の減少、そして天候不順と分析。令和７年度は新たな客層の開拓に注力し、パークゴルフ新聞への広告掲載や、団体客誘致のため、温泉とのセット券などを企画していきたい。

温泉とゴルフをセットで団体客誘致も

**Q 物産館かざぐるまの収支計画は。**

A 物産館かざぐるまでは黒字予算を組んでおり、物産館の収益性改善に向けて努力していく。

**※1物産館かざぐるま**
令和５年度まで生産者出荷組合により運営されていましたが、令和６年度に振興公社の直営となり、本年度からは道の駅よしおか温泉の一部門として、公社が指定管理を受ける形で運営が行われています。

**※2指定管理**
町が指定する法人や団体へ施設の管理を委任して行わせることです。

## 発議第２号　自治体間交流推進特別委員会の設置について

# 特別委員会設置の議員発議を可決しました

発議とは、議員が議案を議長に提出することです。令和７年第２回定例会では、藤多ゆかり議員による特別委員会設置の発議があり、議会は全会一致で可決しました。その後、議長から委員が選任され、委員会の互選により、委員長に大井俊一議員、副委員長に宮内正晴議員が決まりました。

| | 件名・要旨 | ※1提出者・賛成者 | 本会議結果 |
|---|---|---|---|
| 発議<br>第２号 | 自治体間交流推進特別委員会の設置について<br>…※2災害時相互応援協定や※3友好都市協定の締結など、自治体間交流・連携についての調査研究を行うもの | 提出者<br>議員　藤多ゆかり<br><br>賛成者<br>議員　飯塚　憲治<br>議員　大井　俊一 | 可決<br>（全会一致） |

提出者
藤多ゆかり 議員

吉岡町は現在、平成23年10月北海道大樹町と友好都市協定を、令和６年12月には神奈川県開成町と災害時相互応援協定を締結しています。大樹町とは友好都市協定締結以来、産業分野はもちろん、子どもたちの交流も行われ、大変貴重な機会を得られていると思います。

災害が増加している昨今、開成町と災害時相互応援協定を締結できたことは、私たちの暮らしの安心材料になったことに間違いありません。そして、お互いを知る良い機会にもなり、気候風土・文化の違う自治体同士、交流を深め、有事の際には助け合えるという関係は大変有益なことです。

しかし、自治体間交流を推進しようとしても、それぞれの委員会活動など、現状ではなかなか難しく、特別委員会を設置し、調査研究・推進することが有効と考えます。

また、自治体間交流は複数の行政部署にわたる交流が想定されるため、常任委員会や議会運営委員会とは別に特別委員会の設置が必要不可欠であると考えます。

このような背景から、「自治体間交流推進特別委員会」を設置することを、提案します。そして、それはSDGsの11番「住み続けられるまちづくりを」にもつながります。

## 自治体間交流推進特別委員会を設置しました

小林　静弥　飯塚　憲治　藤多ゆかり
○宮内　正晴　◎大井　俊一　廣嶋　隆

〔◎…委員長　○…副委員長〕

※1**提出者・賛成者**
議員発議をするためには、議案を提出する議員に対し、議員定数（14人）の12分の１以上の賛成者が必要と地方自治法で決められています。

※2**災害時相互応援協定**
災害発生時における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について、地方公共団体の間で、または地方公共団体と民間事業者や関係機関との間で締結される協定のことです。

※3**友好都市協定**
文化交流や親善を目的として、地方公共団体間で締結される協定のことです。

**第２回定例会　賛否一覧**

## 一般質問

# 議員の知見と活動の集約

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。

吉岡町議会では、質問・答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。

▲本会議の様子を生中継・録画でも配信

# 男女共同参画計画の推進を

藤多（ふじた）ゆかり 議員

## A さまざまな取り組みを実施していく

**Q 第２期吉岡町男女共同参画基本計画のこれまでの取り組み、審議会などにおける男女比率の現状、今後の具体的な計画と課題は。**

A 啓発のための映画上映会、DV防止被害者支援研修会など実施、審議会などにおける男女比率は29.1％と若干減少。今後は意識づくり・環境づくりについて周知啓発をはじめ、さまざまな取り組みを実施していきたい。

**Q 消防団員確保の施策・広報活動は。**

A 消防団行事の統合・一部廃止や団員の待遇改善を図り、団員募集活動を行っている。

**Q 吉岡中体育館エアコン設置について、計画の進捗（しんちょく）状況は。**

A 調査などを考慮して、令和８年度から具体的に動きだせるよう準備を進めたい。

**Q 日本の英語能力指数は10年以上にわたり下降傾向にあるが、ICTを効果的に利活用している吉岡中の現状は。**

A 令和５年度の中学校３年生を対象とした全国学力学習調査では全国平均より高く、県平均を上回っていた。

周知・啓発を進めたい（男女共同参画週間）

# 基本計画をどのように受け止めたか

廣嶋（ひろしま）　隆（たかし）　議員

## A 町の要望に即した基本計画である

**Q 令和７年３月に策定された「次期最終処分場施設整備基本計画」（次から基本計画）の内容について、町はどのように受け止めたか。**

A ※クローズド型で計画され、浸出水が外部に流出しない無放流式となっており、遮水工には耐久性に優れた粘性土層が採用されている。住民要望などが計画に取り入れられ、町の要望などに即した基本計画である。

**Q 町はこの基本計画で、渋川広域組合にどのような要望を行うのか。**

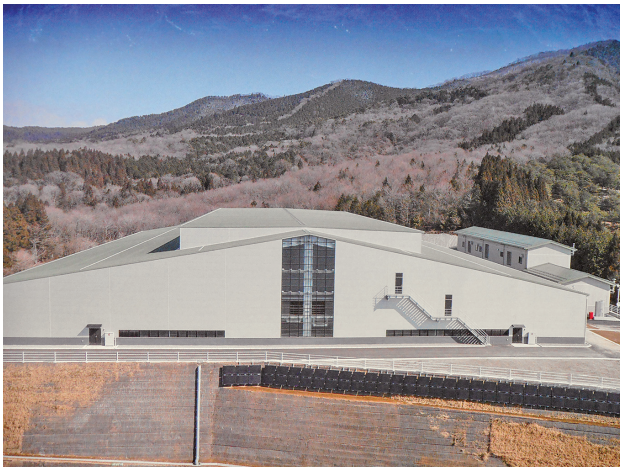
A 地域住民に開かれた施設、環境学習や環境教育に役立つ施設となるよう要望していく。

**Q 基本計画の中で被覆施設や管理棟について、耐震性に触れていないが、町の見解は。**

A 耐震性・安全性について、具体的には次の基本設計の中で耐震性能を決定し、実施設計で構造計算などを行う予定となっている。

**Q 基本計画には疑問点がある。町の見解は。**

A 基本計画に記載の誤りがあり、修正事項は渋川広域組合に依頼した。



令和 11 年度には埋め立てが終了する（エコ小野上処分場）

**※クローズド型**
処分場の上を屋根や壁で覆ったり、建築物などの下に作られる型式のことです。処分場の上が覆われていないオープン型と違い、雨水やガス、臭気が管理しやすいなどの利点があります。

### 運搬計画が盛り込まれていないが ホームページへの掲載を検討

**Q 基本計画に運搬計画が盛り込まれていないが。**

A 基本計画は必要な施設などについて、基本的な方向性を示すものであるため、運搬計画までの記載はないが、ホームページへの掲載を検討していきたい。

**Q 用地買収の進捗（しんちょく）状況について、地権者は何人応じたか。**

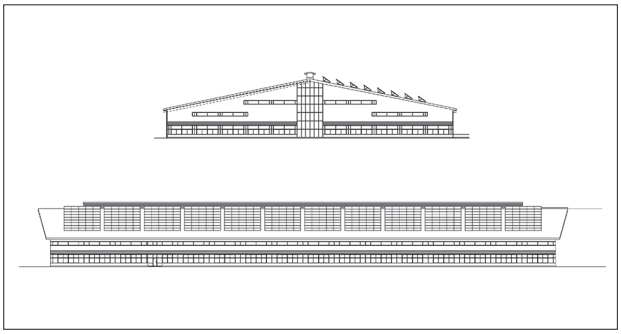
A 用地買収は令和７年９月以降の計画となっているため、応じた人数は示せない。地権者数はのべ 44 で、うち官公庁が４となっている。

**Q 次期最終処分場の周辺対策について、町の考えは。**

A これまで周辺対策について要望を受けており、周辺住民への影響に配慮し、地域のニーズ・要望を取り入れた中で計画し、地域の人々と協議を重ね、進めていきたい。

**Q 今後の周辺住民との協議を含めたスケジュール案の発表は。**

A なるべく早くお示ししたい。



新施設は壁の下部を全面ガラス張りにして、屋根には太陽光発電設備（200kW）を設置する
南北 120m ×東西 69m（被覆施設立面図案）

# 産業団地土地譲渡の同意書提出状況は

## A 現在取得に向け努力している

冨岡（とみおか） 栄一（えいいち） 議員

**Q 駒寄スマートＩＣ（インターチェンジ）西側周辺の産業団地地権者から「土地の譲渡に係る同意書」の提出をお願いしているところだが、現在の状況は。**

A 現在、同意書の提出をしていない人々に、順次提出のお願いに伺っている。

**Q この事業を成功させるには、プロジェクトチームを作り、行っていくべきでは。**

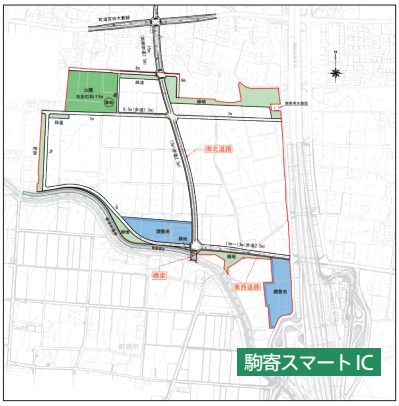
A 現在、産業振興室員４人で本事業に取り組んでおり、道路などのインフラ整備は、関係部署に協力依頼の体制をとっている。

**Q 産業団地計画では、前橋市と連携し行っていくほうが良いと思うが。**

A 前橋市と、「駒寄スマートＩＣ周辺での産業振興に関する覚書」に基づき、前橋市の担当部局と詳細な調整を行っている。

**Q 企業誘致は、町長によるトップセールスを積極的に行うべきでは。**

A 企業誘致にあたっては、私も先頭に立ってトップセールスを進めている。現在、県外を含め、他市町村の状況を参考にし検討している。




前橋市との連携が重要
（駒寄スマートIC周辺の産業団地計画案）

# 学校周辺のゾーン30化を

## A 公安委員会の所管、地元の理解が必要

宮内（みやうち） 正晴（まさはる） 議員

**Q 駒寄小周辺をゾーン 30 にと思うが。**

A 公安委員会の所管であり、地元の理解も必要。令和８年９月１日に改正道路交通法施行令が施行され、生活道路は時速 30km に規制がかかるので、今後の対策を考える。

**Q ヘルプマーク・カードの窓口対応は。**

A 交付時に使用方法などの説明を実施。状況に応じた対応をしていく。

**Q 防災協定の締結促進や防災体制強化は。また、PR 活動はどう行っているのか。**

A 協定の締結数は現時点で 44 になっている。今後も災害時協定の締結を積極的に進めていく。PR 活動は広報よしおか・町ホームページへ掲載、地域の防災訓練を通じて、周知を図る。

**Q 滞留解消対策で午王頭（ごおうず）川に橋を架けては。**

A 対岸道路が未整備であるため、慎重に検討。

**Q 学校のセキュリティー対策、心のケアは。**

A 防犯教室・不審者侵入への避難訓練を定期的に実施。事案発生時はスクールカウンセラーを臨時派遣の要請。

駒寄小周辺にも児童を守るゾーン 30 を
（明治小北側ゾーン 30）

# 下水道管老朽化の今後の対策は

秋山（あきやま） 光浩（みつひろ） 議員

## A 適切な施設管理を徹底

**Q 埼玉県八潮市の、下水道管老朽化が原因と思われる陥没事故を受け、今後町としてどのような対策を立てるのか。**

A 国が新たに示す指針や従来の下水道法の維持修繕基準に基づき、適切な施設管理を徹底。

**Q ３月 18 日国土交通大臣から、直径が２m以上で敷設から 30 年以上が経過した下水道管の緊急点検指示が出されたが、町内に該当する下水道管はあったのか。**

A 町が管理している下水道管の最大口径は 800mm で、管延長は 37m。30 年以上経過している下水道管の総延長は４万 6589m。

**Q 吉岡町に限ったことではなく、全国的に水道事業インフラの更新に追われる時期を迎えていると感じる。近い将来、使用料金・利用料金の値上がりも視野に入ってくるか。**

A 水道施設を計画的に更新し、できるだけ健全な状態で次世代に引き継ぎたい。必要なタイミングで適正な料金改定も検討しなければならない時期も来ると考えている。

町のマンホールのデザインは名産品である【ぶどう】と【こけし】が描かれている

# 都市計画マスタープラン改定の方向性は

坂田（さかた） 一広（かずひろ） 議員

## A 土地利用と交通移動手段の一体化へ

**Q 都市計画マスタープラン改定について、町のマスタープランは平成 13 年に作成され、平成 28 年の改定を経て現在に至っている。今回の改定の目的と基本方針、方向性は。**

A 吉岡町都市計画マスタープランは、おおむね 20 年後のまちの姿を展望した上で、その実現に向けての大きな道筋を示したものである。今回の改定の目的は、吉岡町では駒寄スマートICを核とした地域振興が進展する一方、住宅のバラ建ちが進み、市街地が拡散したり、１時間に１本以上のバス路線が１路線のみで、自動車以外の交通手段がなかったり、身近な公園が少なかったりするなど、課題が山積していることから、都市計画マスタープランを吉岡町公共交通マスタープランとあわせて改定し、「まちづくり・土地利用」と「交通・移動手段」が一体となった方向性で都市計画マスタープランを改定し、「思いを紡ぎ、未来につなげるまちづくり　吉岡」を実現していくことであると考えている。

次回は令和８年度に改定される吉岡町都市計画マスタープラン

# 学校体育館のエアコン設置の見通しは

飯島（いいじま） 衛（まもる） 議員

## A 必要性の高い中学校から準備したい

**Q 令和６年３月議会でも質問したが、小・中学校体育館のエアコン設置の見通しは。**

A 最も必要性の高い中学校の体育館からと考えている。また、国の補助金の交付要件が緩和されたことに伴い、来年度から動き出せるように準備を進めたい。明治小の体育館は、建築後４４年が経過しており、大規模改修または建て替えの検討が必要と考えている。

**Q 県道前橋伊香保線の歩道の整備をしているところに、穴薬師のケヤキという巨樹があって工事が中断しているが、どのようにするのか。**

A 穴薬師のケヤキを残し、ケヤキの裏側を回る形で歩道を新設すると渋川土木事務所から聞いている。

穴薬師のケヤキの維持管理を

**Q 町内には、上野田に瀧泉（たきいずみ）神社の鳥居杉（とりいすぎ）と、明治小の駐車場にケヤキの巨樹があるが、天然記念物に指定して管理すべきと思うが。**

A 天然記念物にすることは、所有者が将来にわたって保護と管理に対し責任を負うことであるため、慎重に判断したい。

**Q 産業団地の工事は今の時点でどのくらいの予算規模になるのか。**

A 基本計画策定業務にて算定を行っているところである。

**Q 国や県の補助金はどのくらい見込めるのか。**

A 産業団地へのアクセス道路、南北の道路・東西の道路は、国の交付金事業となっている。

**Q 万が一、どうしても賛成できない人がいた場合の対策は。**

A 地元の理解があっての事業であるため、懇切丁寧な説明や訪問を通して理解を求めていきたい。

**Q 団地内の区画道路は、進出する企業の要望など聞くとあるが、造成計画は。**

A 基本計画案では、東西に大きく２区画の造成計画を予定しているが、方針が変わる可能性がある。

### 乾電池などの回収方法が分かりづらいが効果的な回収方法を検討したい

**Q アルカリ乾電池とマンガン乾電池は不燃ごみに出せるのに、ニカド電池とリチウムイオン電池は役場で回収するとのことだが、紛らわしいと思う。改善の余地はあると思うが。**

A ボタン電池などの回収方法なども含め、今後効果的な回収方法を検討したい。

リチウムイオン電池の回収を

# 次期都市計画マスタープランに空き家の対策は

山崎（やまざき） 守人（もりひと） 議員

## A 基本的な方針を盛り込む予定

**Q** 町内に空き家がとても増えてきているような印象がある。また、現在独居で暮らされている世帯も多いと聞いている。吉岡町に家を建てたいと思って選んでくれている人がいる一方で、空き家が徐々に増えてきている現状もある。今後、改定予定の都市計画マスタープランは、新たな宅地開発ということだけではなく、空き家を活用するような対策を盛り込む予定があるのか。

**A** 空き家のリユース・リフォームなど、空き家対策の基本的な方針を次期都市計画マスタープランに盛り込む予定となっている。

**Q** 町内の幹線道路から少し中に入ると、本当に狭い道が多いと思う。この狭い道路を子どもたちが登下校し、車も通勤などで行き来し、危ないと思う。新たに開発されている宅地は道を拡幅するために土地を寄贈するような条件になっているのか。

**A** 都市計画区域内の敷地に住宅を建築する場合は、法律による接道義務の規定に従う必要がある。接道義務とは、幅員が４ｍ未満の道路のみが敷地に接し、その敷地に住宅を建築しようとする場合、道路幅員を４ｍ以上にする必要がある。このような場合、必要な面積の土地を寄付いただき、町道として管理をしている。

安全性の確保が望まれる宅地開発と狭小道路
（大久保地内の町道）

## 吉岡バイパス延伸の協議は県・渋川市と勉強会を実施した

**Q** 県土整備計画のぐんま・県土整備プラン 2025 に、県道前橋伊香保線吉岡バイパス整備が明記された。関係自治体との協議はどれぐらい進んでいるのか、どのぐらいの頻度で協議が行われているのか。

**A** 県・渋川市・当町の３者による勉強会を実施した。現在、道路整備の進め方について、課題の整理、役割分担などの協議、確認を実施している。

早期着工が望まれる吉岡バイパス
（ぐんま・県土整備プラン 2025）

**Q** 令和６年４月１日に吉岡町犯罪被害者等支援条例が施行され、１年以上が経過した。対象となる犯罪被害者はいたか。

**A** 施行後対象となる人はいない。

**Q** 街灯の増設の検討は。

**A** 防犯灯として答弁するが、設置後の電気料は自治会負担となるため、自治会から上げられる要望に応じて予算の範囲内で設置を進めている。

# 町内幹線道路の整備計画の実情は

飯塚（いいづか） 憲治（けんじ） 議員

## A 都市計画マスタープランを策定中

**Q 県道・町道合わせて、町内の幹線道路の現在と将来への整備計画は。**

A 県道前橋伊香保線吉岡バイパス延伸は事業着手に向けて、県・渋川市と３者で協議中。漆原総社線は第１工区を整備推進中、産業団地整備に関連したアクセス道路整備にも着手。また改定中の都市計画マスタープランの中で、幹線道路の整備方針を策定予定。

**Q おおむね 15 年後から想定される町の人口減少。町の持続的発展を目指し、将来を見据えた業務執行体制を整える準備は。**

A 今後の人口減少を予測し、10 年 20 年先を見据えた業務執行体制の見直しは、将来に対して果たすべき行政責任と考えている。現在も数多くの課題を抱え、課を横断した柔軟な連携体制で取り組んでいる。機構改革は、社会情勢も見極めて柔軟に対応する。

延伸が期待される吉岡バイパス（宮東交差点）

### 生成 AI 不適切利用の防止策は
### 利用関係者すべてに研修会を実施

**Q 教育計画 HiBALI（ヒバリ） プラン 5.0 では、AI ソフト導入計画がある。この教育ソフト使用時の心配事、児童・生徒による生成 AI の不適切利用の悪影響の防止方策は。**

A 悪影響の防止は児童・生徒をはじめ、全ての教育関係者における不正の認識と防止意識が必要。利用対象の中学２・３年生には、認定トレーナーが生成 AI 利用のメリット・デメリットの学習を実施予定。さらに保護者・教職員・学校代表者・教育委員会事務局職員などを対象に町独自の研修会を実施予定。

生成 AI の適正な有効活用が望まれる

**Q GIGA スクール構想は、児童・生徒にとっては大きな変革であった。学習内容の定着が一律一様に得られているのかが心配だ。この波につまずくことなく、誰も取り残さない、セーフティーネット的な教育指導が求められるが。**

A この教育構想は、単なる ICT の利用を進めるものではなく、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。個別最適・協働的な学習を通して、社会を生き抜く力を身に付けることも目標だ。しかし、児童・生徒には個別の能力・特性があり一律に成果を得るには難しい面がある。個別的支援が必要であり、いかに指導をしていくのかが、各担当また教員に求められていることと認識している。必要な個別指導はしっかり進めていきたいと考えている。

# 地域通貨導入の展望は

小林（こばやし） 静弥（しずや） 議員

## A 具体的な予定はない

**Q 吉岡町では、県内の地域通貨の制度ならびに利用実績、成果や課題、考えられるメリット・デメリットなどを調べているか。また、導入可能性の展望は。**

A 地域通貨のメリットは、地域経済の活性化、地元の雇用創出。一方、デメリットは、管理コストの問題、システム構築後の運営費用など。現時点では、費用対効果も含め、情報収集を行っており、具体的な予定はない。

導入にはまだまだ情報収集が必要
（渋川市では「渋 Pay（シブペイ）」で地域活性化）

**Q 渋川市や前橋市において実証実験やサービスの導入が段階的に行われている。県が推奨する GunMaas（ガンマース）構想について、町としての認識と、現段階での関与状況はどの程度か。**

A GunMaas は、目的地までの経路と移動手段を検索できる便利なシステムだが、吉岡町では、移動手段が極めて少ないため、まずは自動車以外の移動手段を確保することが必要であると考えている。ついては、既存の公共交通にとらわれず、都市計画マスタープランの改定の中で検討していきたい。

**Q 駒寄スマート IC の周辺道路や車線の多い道路と町道との交差点付近に、誤進入や逆走の注意を促すような、路面標示や案内標識の設置の考えはあるか。**

A 県管轄の道路と町道が交差する部分は、県と連携を図って注意の看板など設置に向けて検討していきたい。

### スマホで写真を送れるシステムは
### 本年度中には住民向け対応を

**Q 町内で、色あせたり薄くなったりして見えにくくなっている、老朽化した道路標識や横断歩道や路面標示などの定期点検はしているか。また、スマホでとった写真を簡単に送れるようなシステムなどはどうか。**

A 定期点検はしておらず、日常の業務の中で把握するよう努めている。町では、既存のシステムを活用し、道路異常箇所などの報告が二次元コードを使って写真が送れるようなシステムを、本年度中には、住民向けに対応できるよう進めている。

危険箇所などの写真をスマホで町へ
（見えにくい標識と路面標示）

**Q 10 年連続で群馬県の高校生の自転車事故は全国ワーストワン。子どもたちの自転車事故防止と交通安全の確保対策は。**

A 事故ワーストワン、そういうことをなくすための基本が、小・中学校の交通安全教育や、身近な大人が交通ルールを守る姿を子どもに見せることにある。その上で運転時の交通ルール順守の啓発など、自転車事故の減少を図っていきたい。

# 絶景スポットなどで認知度アップを

大井（おおい） 俊一（しゅんいち） 議員

## A デジタル化で情報発信

**Q 吉岡町のフォト・絶景・二年詣（にねんもうで）スポットなどを活用した認知度アップは。**

A 城山みはらし公園・船尾滝・上毛大橋など利用できるか検討していきたい。伊香保に向かう観光ルートとして、町外への情報発信やプロモーション活動に有益な手段であり、積極的な PR に努め、マップのデジタル化など多くの人の目に留まるよう研究を進める。

インスタ映えする①　城山みはらし公園の初日の出

**Q 愛玩犬のいる、潤いのある地域社会づくりについて町の考えは。**

A 犬を飼っている人・いない人双方が、お互いに納得できるような施策の実現を研究したい。

**Q 町民生活に潤いをもたらすイベントの開催は。**

A ふるさと祭りはコロナの影響で令和２・３年は中止、４年は飲食禁止、参加団体や従事者のアンケートは実施したが、来場者の意向調査は実施していない。参加団体や関係機関と協力して誰もが来てよかったと思えるようにしていければと考え、鋭意検討したい。

**Q 吉岡町の日本一の活用は。**

A 町では把握しているものがない。

**Q 今は廃業してしまった、日本一の線香花火を扱う小倉の花火屋さんや、医師の原沢文仲（はらさわぶんちゅう）（医業 600 年「野田の原沢」の威名（いめい）を関東一円に轟かせた。）などあるが。**

A 日本一と呼べるものを創生し、活用していくことは、町づくりや地域活性化につながるものとして取り組んでいきたい。

## 町歴史活用で人材育成を

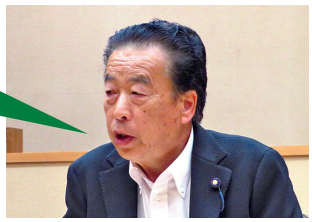
### HiBALI プランなど推進して人材育成

**Q 町の歴史を活用した、子どもたちの郷土愛育成と、心に自信を持って社会や世界に羽ばたく人材育成は。**

A 小学校社会科副読本「私たちの吉岡町」や「吉岡村誌」、高齢者の指導などを活用して、郷土の文化・歴史の理解を深め、郷土愛育成につなげている。本年度から転入・新採用教職員の町内文化財の現地研修をスタート予定。「HiBALI プラン」や町総合計画の「学びのまち・吉岡」の推進は、社会や世界に羽ばたく人材育成に通じるもの。

インスタ映えする②　彼岸花に囲まれた文化財センター

# 長寿祝金条例の改正を



小池（こいけ） 春雄（はるお） 議員

## A 改善に向け検討

**Q** 令和６年度に吉岡町敬老年金条例が廃止され、長寿祝金条例と改正された。80 歳と 85 歳が外され、また、本年度介護慰労金支給要綱の改正を行った。これらは吉岡町が他市町村に誇れる制度であったが、対象者を減らし、金額も大幅に減らすという時代に逆行した施策である。高齢者が安心し、長生きを喜べる町にしていくべきだと考える。考え方を改めていただきたいと思うが。

**A** 高齢者の皆さんが必要としている施策はどのようなものがあるのか、施策の全体的な点検・見直しを含め、施策の拡充や新たな施策の導入などが行えるか、関係機関などから意見を聞き、検討を進めていきたい。

**Q** 介護慰労金では日常生活に著しく支障のある在宅の高齢者を介護する家族に対して、その労をねぎらうはずが、要介護１・２の人に対しての２万円をなくし、要介護３の人は４万円を３万円に減額、要介護４の人は 10 万円を８万に減額、要介護５の人は 15 万円を 12 万円に減額。このようなことをするのは高齢者は誰も喜ばない。どのような人たちが、協議でこのようなことを決定したのか。

**A** 財政状況を再確認し、改善に向けて検討する。

高齢者が安心し、長生きを喜べる町へ

### 給食費の無償化を
### 一定の負担を求める

**Q** 高齢者福祉と子育て支援策では、予算決算常任委員会からも給食費無償化などの要望書が出されているが、どのような対処をしていくのか。

**A** 学童保育の入所条件の緩和は、今後の需要などを考慮に入れると、踏み切れない。学校給食費では、令和７年度では約 5500 万円の繰り入れを行った。これからも保護者負担の増加にならないように配慮するとともに、一定の負担を求めていきたい。

保護者負担の増加にならないように配慮を

**Q** 循環型社会の構築では役場が中心となり啓発活動の先頭に立たなければならない。これらの構築についての考えは。

**A** 役場内の各部署において、担当する事務事業を率先して行い、町民の意識の高揚につなげていく。

# お便りコーナー

クイズの回答とともに、多くのご意見・ご要望が寄せられました。

紙面がリニューアルされ、より見やすくなった。今まで読まなかった家族にも勧めやすい。

可燃物のごみ袋のサイズ「小」を販売してほしいです。なぜならプラスチックのごみを別にしたら少なかったからです。検討してほしいです。

紙面が見やすくなりましたね。横書きいいですね。
前回で一番気になったのは、「一般質問のその後を追う」です。もう少し説明があってもよかったかなと思いました。
これからも分かりやすい紙面作りをお願いいたします。

子どもが生まれてから遊べる場所を探しましたが、町内にはあまりないことが残念だと思いました。移住される若い世代も多いと思いますので、子どもが安心して遊べる場所ができるとうれしいです。

日常生活で一番身近な町内のことが分かり、いつも必ず読んでいます。議員さんご多忙の中、町民のために働いてくださり頭が下がります。

人口増により学生数も増えていると聞きます。事務の効率化などを図り、教師が一人一人の生徒に向き合えるような環境づくりや、教師自身が新しい課題について学びの時間を持てるようにするなど、公教育の充実に力を入れてほしい。

グラウンドの木を伐採した後、夏に涼む場所（グラウンド）がない。スポーツする人が大変。

先日温泉の優待券がきたが、３枚は寂しいと思います。１枚の紙に印刷しているのだし、４枚にしても同じだと思う。１枚増やすことで費用が大変になるのかと考えてしまう。

先日の上毛新聞で神流町が全戸にAIスピーカーを設置するとありました。吉岡町はそのような計画はないですか。あればとても便利になると思います。

役場から隣保館に向かう十字路にカーブミラーの設置を希望します。現在はカルバートから西に向かう場合には設置してありますが、西から東へ向かうときには「止まれ」の標識のみです。通学路でもあり危険を目の当たりにしました。先日も事故が発生しています。よろしくお願いいたします。

# よしおかクイズ NO.148

**問１**　議会広報常任委員会の委員は何人でしょう。
Ａ．７人　　Ｂ．８人　　Ｃ．９人

**問２**　発議第２号の賛成者は何人でしょう。
Ａ．２人　　Ｂ．３人　　Ｃ．４人

**問３**　一般質問は何人が行ったでしょう。
Ａ．１２人　　Ｂ．１３人　　Ｃ．１４人

**問４**　（任意）皆さんの声を聴かせてください。
ご意見やご要望などをお寄せください。
「お便りコーナー」で紹介します。

**応募方法**
・はがきに答えの記号（例１－Ａ）、住所、氏名、年齢、職業の記入または二次元コードから応募してください。
※個人情報は商品の発送のみに使用します。

**応募先**
〒370-3692
吉岡町大字下野田５６０番地　吉岡町議会事務局

▲応募はこちら

**応募期限**　９月１日消印有効

**賞品**　正解者の中から抽選で５人に、図書カード1,000円分をプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回の正解は１－Ａ、２－Ｃ、３－Ｂでした。

## 皆さんの傍聴をお待ちしています

次の議会は９月上旬を予定しています。
会議は９時３０分から始まります。
詳しい日程などは広報よしおか８月号に掲載されます。
また、町ホームページでもお知らせします。

## 編集後記

２年ぶりに「議会だより」編集に携わらせていただきます。委員長として身の引き締まる思いです。内容はもちろん、デザインやスタイルも町民の皆さまに分かりやすくお届けできるよう、これからも精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。　（小林　静弥）

## 議会広報常任委員会

委員長　小林　静弥
副委員長　山﨑　守人
委員　宮内　正晴　秋山　光浩
大井　俊一　藤多ゆかり
春山　和久

発行　吉岡町議会
責任者　議長　富岡　大志
住所　群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田５６０
ＴＥＬ　０２７９－５４－３１１１

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。 UD FONT